

第9回 工場見学とインタビュー

七海建設 株式会社様の工事現場と本社へお邪魔しました(2019. 1. 24)

本社

訪問場所： 東京都練馬区平和台4-25-12
訪問日： 平成31年1月21日(月)
訪問者： 平松支店長・福澤課長・徳原

工事現場

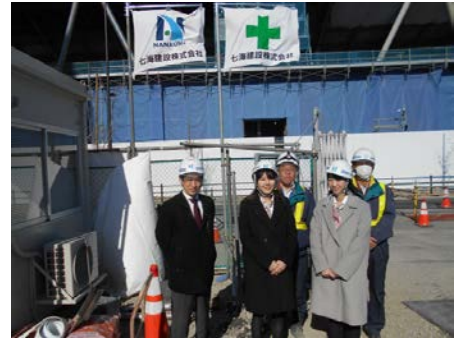
東京都江東区有明1丁目
平成31年1月24日(木)
平松支店長・カスタマーG職員2名・徳原



本社ビルをバックに本社勤務の皆さま



本社ビルをバックに七海社長



取材現場にて社旗をバックに



会社ロゴ



本社社屋

★インタビュー

Q1. 御社のお仕事内容を教えてください。

A1. 会社創立以来、都民の皆さまが生活する上で欠かせない下水道・上水道・道路工事等の社会基盤工事を一貫して手掛けております。
長年の施工実績により、東京都から中野区全域の公共下水道の維持管理業務委託を受けております。
都職員の方々と協力して安全で安心な下水道の管理に取り組んでおります。
また、弊社の施工管理は各方面より、高い評価をいただいております。
都心の新名所「六本木ヒルズ」の名称で親しまれている六本木六丁目再開発事業や、東京臨海新交通臨海線(通称ゆりかもめ)の発着起点である新橋駅付近の汐留再開発事業、その他都市再開発事業の下水道・上水道工事を施工いたしました。現在も官民一体となって、都心部では多くの都市再開発事業が施工中又は計画中であり、そのインフラ整備工事にも取り組んでおります。



本社にてインタビュー

左:七海社長・右奥:平松支店長・右前:福澤課長

Q2. 御社の沿革を教えてください。

A2. <<HPより抜粋>>

1969年3月 七海建設工業株式会社として、東京都練馬区春日町に設立
1970年1月 建設業登録
1973年8月 本社を東京都練馬区平和台に移転
1984年10月 七海建設株式会社に社名変更
2008年8月 本社新社屋完成、和光営業所開設

Q3. 御社の経営理念を教えてください。

A3. 社は **「社会貢献」**
社会基盤工事を手掛けていることから、「社会貢献」を社是としております。

経営方針 **「技術と信用」**
確実な施工と高い品質により、都民の皆さまの安全で安心な生活に寄与したいとの考えから「技術と信用」を経営方針としております。

社会貢献につきましては、降雪時に人通りの多い駅前、区内の福祉施設、学校を中心に事前に除雪を行い、安全な通勤通学の確保に寄与しております。また、台風到来時には昼夜社員が待機し、河川の氾濫や樹木倒壊等に備えます。
平成23年3月11日発生 of 東日本大震災においては練馬区内の約半分を巡回し、被害の確認や倒壊ブロック塀等の処理にあたりました。



Q4. セブンミッションについて一つ一つ詳しく教えてください。

A4. 以下の通りです。

1. 夢

社員が将来実現したいと思う夢。人生で多くの時間を過ごす七海建設で、一人ひとりが「夢」を思い実現していく。それが会社のパワーの源です。

2. 安全

建設会社にとって「安全」は第一に取り組む課題。「安全にはコストをかける」七海建設は、日々の業務を「安全」の視点から常に見直します。

3. 信頼

顧客、協力会社、そして地域からの「信頼」がなければ、会社は存在しません。七海建設は、半世紀を超えてこれからも皆さまの「信頼」に応えてまいります。

4. 技術

一人ひとりが技術の習得と資格の取得を目指し、七海建設は、仕事師としての技術力に磨きをかけます。

5. 感謝

これまでの事業を支えてくれた皆さまの「おかげ様をもちまして」ついに創業半世紀。七海建設は、常に「感謝」の心を忘れません。

6. 貢献

創業から公共工事を通じて東京都のインフラを支えてまいりました。七海建設は、これからも多くの施工現場で「貢献」を実現してまいります。

7. 進歩

土木工事は多くの技術革新に支えられて今日があります。七海建設は、現状に立ち止まることなく「進歩」を続け、「今日の自分を超越する」ことが使命です。



2018.12.27 忘年会

Q5. 御社の3つの事業について詳しく教えてください。

A5. 景気の好況・不況に左右されない安定した経営を目標に、3つの事業を収益の柱としております。

①都市インフラ事業<首都東京の持続的発展を地下から支える>

東京都では下水道局・水道局・都市整備局・建設局より受注しています。

②都市再開発事業<都市の機能性向上を支え、東京を世界一の都市へ>

官民が一体となり都市部を中心に、多くの大型都市再開発事業が行われています。

また、首都高速や外郭環状道路等の高速道路建設において、上下水道の撤去・移設・新設等の施工を受注しております。

③宅地造成事業<土地の有効活用により住みよい街へ>

a. 大手ハウスメーカー・分譲住宅会社等が計画する分譲用地の造成工事。

b. 区と用地所有者が一体となって行う区画整理事業の造成工事。

c. 宅地の擁壁工事。

※ここで七海建設 株式会社様の代表的工事現場の写真をご紹介いたします。



虎ノ門新駅設置に伴う下水道工事



中央区晴海地区再開発事業に伴う下水道工事



豊島区南長崎1丁目地内配水本管移設工事

Q6. 御社の一番自信のあるところを教えてください。

A6. 経営方針である「**技術と信用**」を現場で実践する工事施工管理者です。

創業メンバーの、工事担当責任者の施工に取り組む姿勢が、現在まで引き継がれています。

Q7. 御社は採用に力を入れていらっしゃいますが、心掛けている点について教えてください。

A7. 採用は単に労働者として採用するのではなく、**一個人を社会人として自立させ、未来の東京のインフラを支える技術者にするという強い気持ち**をもって採用活動をしております。

Q8. 御社は今年東京都より、表彰をされたとのことでしたが、どのような表彰なのか教えてください。

A8. **第68回 東京都建設業者大会にて『優良建設業者』**として表彰されました。



2018.4.21 社員旅行

Q9. 御社は今年度設立50周年を迎えますが、今後目指す新たな挑戦は何かございますか。

A9. 都内の下水道敷設は一部を除き、平成7年に100%達成いたしました。しかし、敷設後数十年を経過した管の内面は、亀裂が入る等の損傷により汚水が漏れ、道路陥没や地中内環境の汚染の大きな原因となります。

この対策として経年劣化した管を樹脂等により管の内側から補強し、新品同様に再生する『**下水道更生工法**』があります。

弊社では年内に試験施工の段階に入ります。

創立100周年を目指す中核事業の一つとすべく取り組んでおります。



本社内での社長

Q10. 社長に伺います。経営者として過去の経験から一番うれしかったことを教えてください。

A10. **経営方針である「技術と信用」の言葉を実感するときです。**都各局より施工管理や品質について高評価をいただき優良工事の受賞、民間工事においては弊社特命での施工依頼があり『**価格面で高くとも、やはり七海だよ**』等の報告を受けたときです。



Q11. また、経営者として苦勞された点を教えてください。

A11. 平成10年頃から深刻さを増したバブル景気倒壊による、10数年に及ぶ戦後最大の不況です。

全産業において多くの会社が倒産や合併、人員整理がありました。

懇意にしている会社も数社倒産しました。

この不況は日本の産業構造や雇用形態に大きな影響を与え、日本経済は今もその影響から抜け出し切れていないと感じます。

建設業では、8年前の東日本大震災の翌年まで深刻な建設不況が継続していました。弊社もこの難局を乗り越えて現在があります。

社長に相談しやすい環境ができております

Q12. 御社は業務上、安全管理に対する重要性が高いと思いますが、どのように管理されていますか。

A12. 以下の4項目を中心に行っております。

①安全施工サイクル

安全施工サイクルに沿って、基本的な実施事項を定型化しています。

②社内安全パトロール

現場担当以外の目線で相互に安全への取り組みを確認しています。

③災害防止協議会(毎月)

月に一度全現場の安全への取り組み確認及び他社の事項事例から学びます。

④災害防止協議会(年に1度)

協力業者を含めて、年に一度の安全に対する確認と安全への誓いをしています。



2018.10.18 災害防止協議会
安全推進スローガン表彰

お忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございました。
では次に、工事現場を見学させていただきます。

★工事現場見学

今回、見学させていただく現場は**東京都江東区有明1丁目の工事現場**です。

道路を掘り起し、下水道管の補修作業をしております。

この場所を見てピンとくる方も多いと思いますが、**東京オリンピックに合わせた工事**となっております。



工事の内容を詳しく説明して
いただいております



ヘルメットを装着して安全準備よし！



ただいまより、工事現場を見学します！敬礼



見慣れた工事看板もお客さまの看板となると感動です



既設管の取り除いたものが並んでいます



既設管はこんなに老朽化していました



工事現場はきれいに整ってありました



安全管理が徹底されてありました



一区画ずつしっかり安全管理されてありました



整理整頓された工事現場



工事現場向かいは東京オリンピック「体操会場」です



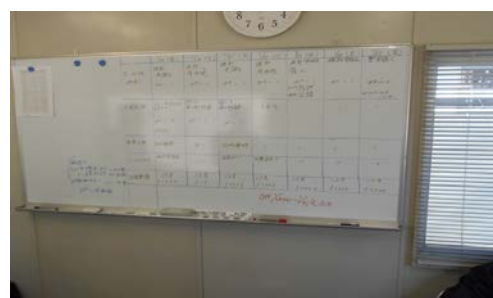
奥に見えるのが「バレーボール会場」です



既設管を取り除いた状態



きれいに整備された工事現場だったのでもう一枚！



作業工程もしっかり管理されてありました



★おわりに
～会社概要～

商号	七海建設 株式会社
代表者	七海 公治
住所	東京都練馬区平和台4-25-12
電話番号	03-3931-2030
URL	http://www.nanaumi.co.jp/
設立	昭和44年3月15日
従業員	48名(うち直営労働者15名)
関係団体	社団法人 東京商工会議所
	社団法人 練馬産業連合会
	社団法人 練馬交通安全協議会
	社団法人 練馬東法人会
	社団法人 首都道路協議会
	社団法人 東京都土木建築健康保険組合
	社団法人 建設業同労災害防止協会
	社団法人 東京都下水道工事專業者協会
	練馬土木防災協会
	下水道メンテナンス協同組合
営業種目	光硬化工法協会(南関東地域支部)
	下水道施設事業
	水道施設事業 道路工事



今回の取材について、七海建設株式会社様のHPの
新着情報でも取り上げて
いただいておりますので、
ぜひそちらもご覧ください。
<http://www.nanaumi.co.jp/>



いつ訪問しても気持ちの良いご対応をしていただく皆さま！！

- Q13. 私たち、城北信用金庫はただ、お金を預けたり、お金をお借りいただくことだけでなく、お悩みを解決したり、地域と共に生きていくことを積極的に取り組んでおりますが、今後金融機関に望まれることはございますか。
- A13. 信用金庫には地域のパートナーとして、地元企業の成長を多角的に支援していただきたいです。企業が抱える悩みは多岐にわたり、ときには普段から顔を合わせている信用金庫だから相談できるケースもあります。併せて、地元企業だけでなく信用金庫にも発展し続けていただき、より一層の相乗効果を生み出せることを期待していきます。
- Q14. 御社は今年度ホームページを更新されましたが、そのきっかけと何か効果はございましたか。
- A14. 設立50周年に合わせてホームページの更新を検討していたところに、城北信用金庫 平和台支店様より企業マッチングの紹介を受け更新しました。社外の方に向けては、特に学生への情報発信に功を奏していると感じます。また、弊社社員が自身の勤める会社により関心を持つきっかけになり、自分の現場が紹介されることにやりがいと喜びを感じていることが、その効果だと感じています。



現場責任者からの説明を平松支店長自ら
咀嚼して説明します



オフショット：ヘルメット装着準備



工事現場の社旗をバックにカスタマーグループ職員

★編集後記

いつもお邪魔しても、気持ちの良いご対応をしていただき、七海建設株式会社様。

また、雪の日も私たちの周辺も当たり前のように除雪作業をしていただくなど、常に地域のことまで考えていただいている素晴らしい企業。

そのような企業のお仕事風景を見学できて、日ごろから当たり前になしていることが再確認できました。私も改めて七海建設株式会社様のように周りの人に喜ばれる存在になりたいと思いました。

今年度から始めた「工場見学とインタビュー」ですが、今回初めての「工事現場」の見学でした。なかなか工事現場を見学できない中で、快く取材の許可をいただき、丁寧にご対応をしていただきまして誠にありがとうございました。
(記者：徳原)

設立50周年！おめでとうございます！！

半世紀にわたり地元のため、練馬区のため、東京都のために尽力されました。一言で半世紀と言っても、経営するにあたっては山あり谷ありだったと思います。先代から引き継いで2代目、ますますパワーアップして、新しい『下水道更生工法』にも取り組まれ、今後の更なる活躍が期待されます。我々、城北信用金庫平和台支店も七海建設株式会社様に負けないで頑張ります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
(編集長：平松)

- ～参加したカスタマーグループ職員の声～
- ① なかなか見ることができない工事現場の見学！貴重な体験ができました！！
 - ② 工事現場実際に見るのは初めてだったので、貴重な体験になりました！